

研究情報詳細	
【氏名】	宇井 朗浩 (うい あきひろ)
【所属(職位)】	造形学部スマートデザイン学科(教授)
【取得学位】	
【略歴】	<p>1984年3月 愛知教育大学大学院 教育学研究科 修了(教育学修士 第169号)</p> <p>1986年4月 名古屋造形芸術短期大学インターメディアコース 非常勤講師(至2009年3月)</p> <p>1994年4月 名古屋造形芸術大学美術総合造形コース 非常勤講師(至2013年3月)</p> <p>2003年4月 愛知産業大学造形学部産業デザイン学科 助教授(至2007年3月)</p> <p>2004年4月 愛知産業大学造形学部デザイン学科 助教授(学科名称変更)(至2007年3月)</p> <p>2007年4月 愛知産業大学造形学部デザイン学科 助教授から准教授に変更(至2012年3月)</p> <p>2012年4月 愛知産業大学造形学部デザイン学科 教授(至2019年3月)</p> <p>2017年4月 愛知産業大学造形学部デザイン学科長(至2019年3月)</p> <p>2019年4月 愛知産業大学造形学部スマートデザイン学科 教授(現在に至る)</p> <p>2019年4月 愛知産業大学造形学部スマートデザイン学科長(至2022年3月)</p>
【主な担当科目】	歳すスマートデザインⅠ、プレゼンテーション演習、エンターテインメントプロトタイピングⅠ
【主な研究分野】	映像論、ビデオアート、映像制作
【所属学会等】	日本映像学会、日本映画テレビ技術協会、コンピュータ利用教育学会
【主な研究テーマ】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人工知能使用を想定とした映像制作方法、活用方法の研究 2. 映像制作方法、作品構成の方法、映像生成技術についての研究 3. 映像制作教育方法の研究:テーマ、題材の設定から映像制作全般を体験し、制作の動機を確保できる授業カリキュラムの作成
【主な研究・発表等業績】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「週末の卵」ビデオインスタレーション、メディアセレクト2001、名古屋港20号倉 2. INAZAWA・現在・未来展、会場用DVD制作、稲沢市立荻須記念美術館、2002年11月 3. 「いま伝えたい匠の技とところ〜名古屋城本丸御殿復元模型完成までの歩み」ドキュメンタリービデオ制作、2009年8月 4. 「IN THIS VISIBLE WORLD」"At Waste" 長谷川哲とのコラボレーション映像作品、およびドキュメントビデオ制作 Tenshin Okakura Gallery, New Delhiほか、2010年2月、7月
【社会的活動】	
【その他の活動】	

氏名とひらがなで振り仮名

漢字圏の國の出身者については、アルファベット表記欄に「姓・名(姓は半角・大文字、名は1文字目のみ半角大文字、2文字目から半角小文字)」で英字氏名を記入する。(氏名が英字の場合は不要)

所属:学部学科の順

職位:()で所属の後に

略歴:

最終学歴と職歴を記入する。
年月は西暦を用いる。
学位取得は以下の書式とする。
学位 ○○取得 (○○大学「論文題目」)
必要に応じて行数を増やす。

主な担当科目

本年度の担当科目を3科目以内

所属学会

所属している学会を5つ以内で記入

主な研究テーマ

近年の研究テーマを3つ以内で記入

主な研究業績

近年の研究業績のうち、主要なもの5編(件)以内を記入

社会的活動

研究以外の社会活動、地域貢献等を2つ以内で記入

その他の活動

特記すべき事項がある場合には、適当な見出しを付けて記載する

取得学位

○○博士と博士(○○)などの違いも含めて正確に記入して下さい。

主な研究分野

主要な研究分野を3つ以内